

岐阜県教育委員会 様

岐阜清流高等特別支援学校長

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 岐阜清流高等特別支援学校 学校運営協議会 (第2回)
- 2 開催日時 令和4年10月21日(金) 10:00~12:00
- 3 開催場所 岐阜清流高等特別支援学校 会議室
- 4 参加者
- | | | |
|-----|-------|----------------------|
| 会長 | 土屋 明之 | 障がい者芸術文化支援センター センター長 |
| 副会長 | 清水 達郎 | 芥見南自治会連合会 会長 |
| 委員 | 伊藤 知子 | 株式会社十八楼 女将 |
| | 大倉 美江 | すまいる工房株式会社 代表取締役 |
| | 林 武 | 岐阜県老人福祉施設協議会 会長(欠席) |
| | 五十川勝也 | 芥見東身体障害者福祉協会 会長 |
| | 井上 友紀 | 芥見東自治会連合会 会計 |
| | 中野志乃ぶ | 岐阜清流高等特別支援学校 PTA 会長 |
- 学校側
- | | |
|-------|----------------------|
| 青山 孝 | 校長 |
| 三輪 孝司 | 教頭 |
| 柳原 英紀 | 事務長 |
| 横田 真 | 部主事 |
| 三橋 正康 | 教務部長 |
| 北川 百合 | 進路指導主事 |
| 吉田 徹 | 生徒指導主事 |
| 津田 行代 | 保健安全部長 |
| 谷藤麻以子 | 支援部長(特別支援教育コーディネーター) |
| 鎌田 文市 | 渉外部長 |

5 会議の概要(協議事項)

(1) 令和4年度学校経営の目標に対する前期の取組状況について

○新型コロナウイルス感染防止対策を徹底しつつ、生徒の学びの充実を図る。

意見1: JA芥見支店に本校製品が展示されており、足を止めて見ている方がいた。作った

ものを見てもらう、購入してもらう機会は生徒たちの励みになる。

⇒11月に開催される岐阜市農業まつりにもJAブースに製品を置かせていただくことになっている。生徒が直接販売活動を行うことは現状として難しいが、今後さらにこのような機会を広げていく。

○卒業生の職場定着を図るとともに、本校の職業教育等を見直し、一人一人の実態や課題に応じた指導・支援を行う。

意見1：福祉コースは東海大会へ出場することができた。他者からコミュニケーション力について評価されることは素晴らしいことである。

意見2：生活において「融通が利く」ことも大事な力である。苦手なこと、弱いところは頼っていいという指導も大切である。なんでも自分でやらなければいけない指導ばかりでなくてもよい。生徒たちが幸せになれることが大切である。

意見3：本校の入学希望者が減っている状況がある。学校が新設され分散されたこともあるだろうが、本校の「強み」が明確になっていくとよい。選択する側にもわかりやすくなるため、入学してから困ることが減るのではないかと。

○卒業後に自立した社会生活を送るために必要な力の育成。

意見1：部活動では、多様な生徒がいる中、真剣に向き合っている生徒たちもいる。体育館の使用法、練習日の設定、職員の体制など対応してほしい。

⇒特別支援学校の中では盛んに取り組んでいる学校である。しかし、一般の高校生相手には勝てない状況である。練習日や職員体制は本校のルールとして定めており、それに沿って実施している。体育館の使用は調整可能である。今後部活動は、地域化されていく動きがある。このような状況も踏まえ検討していく。

意見2：防災訓練はどのように行っているか。

⇒命を守る訓練では、考えて行動することを重視して、内容を生徒、職員に伝えず実施している。不審者対応訓練においても、シナリオを作らず不審者役が自由に動き回り、それに対してどう対応すればよいかを考えながら行っている。

○教員の働き方改革に対する意識の向上

意見1：先生方は「生徒のために・・・」と頑張る人が多い。ICTの活用など効果的な対策を考えていく必要がある。企業もいろいろ変わっている。コロナ禍のタイミングで仕事が減った内容もあると思うので、収束してから元に戻して増えないようにできるとよい。

(2) 学校評価について

意見1：生徒アンケート14「学校の先生はいじめや差別を許さず厳しく対応している」「まったくあてはまらない」と回答した2名に対し、どう対応するか。

⇒学校全体へ周知し対応していく。

意見2：アンケートの経年変化はどのようにになっているか。前年度と比べることが大切。変化していることを「問題」と捉え、何をしていけばよいかを検証する必要がある。

意見3：過去の数値からどうアクションを起こすのかが大事である。PDCAで実践していけるとよい。また、他校や県全体との比較も大事である。それにより、課題だけでなく本校の強みも明確になる。

意見4：生徒アンケート13「生徒をたたいたりなぐったりしない」項目にC・Dが6人いる。早急な対応が必要である。アンケートをとるだけでなくフィードバックしてあげてほしい。

⇒集計が終わったばかりであるため、今後聞き取りなどを行い早急に対応する。意見をいただいた内容について、ホームページに挙げていく。

(3) 令和4年度資格取得・部活動取組一覧

意見1：運動系だけでなく、美術部の取組が加わったことが嬉しい。今後も積極的に作品展などに参加してほしい。

(4) 令和4年度3年生の進路状況について

(5) 専門コース新規製品の価格設定について

意見1：園芸コース「しめ縄」は、デザイン的にしめ縄ではないため、「正月飾り」としてはどうか。

意見2：園芸コース「シクラメン」は、「生徒が育てたもの」ということをアピールすれば売れるかもしれない。

(6) その他

意見1：学校（教員）には当たり前のことが、保護者には当たり前ではない、知らないことがある。そういう視点をもって様々な情報を伝えてほしい。学校と家庭がもっと気軽に関わることができる環境になるとよい。

6 会議のまとめ

- ・令和4年度学校経営の目標に対する前期の取組状況について全委員より承認が得られた。
 - ・令和4年度学校評価、資格取得・部活動取組一覧、3年生の進路状況について全委員より承認が得られた。
 - ・専門コース新規製品の価格設定について全委員より承認が得られた。
- 多くの意見をいただくことができた。学校が改善すべき内容があり、それを聞くことができるのはありがたいことである。応援していただけることに感謝し、本協議会でいただいた意見を踏まえ検討し、後期の実践に繋げていく。